

VI-6. 平成30年度 ベルキンダー 事業計画

中期事業計画

10ヵ年基本方針

保護者と地域の人々から信頼され、愛され続けるこども園をめざす。

中期ビジョン

幼保一元化のメリットを活かしベルキンダー独自の『質の高い幼児教育と保育活動』を確立する。

中期戦略

堺区の待機児解消が進む中、園児獲得に苦慮する現状があるが、地域との密接な繋がりが持てるよう子育て支援の輪を広げるとともに、一人ひとりの子どもと保護者に寄り添い続ける安心で安全な教育・保育を行う。

平成30年度 事業計画

1. 平成30年度基本戦略

働きやすい現場が生み出す豊かな教育・保育実践

2. 重点活動事項

(1) 利用者獲得

園児数 167名 (定員の119%)

一時預かり事業 300名以上/年

休日保育事業 350名以上/年

(2) 質の向上

平成30年度に施行される保幼小の教育保育要領改訂にあたり、園内の教育・保育実践の再点検を行う。

- ア) 改訂の中で明示化された『就学までに育みたい姿』『非認知能力の促進』を職員研修に組み入れ実践力を養う。
- イ) 小学校と連携を持ち就学に向けた『接続期カリキュラム』を実施することで、園児保護者・保育教諭・学校教員へ好循環がもたらされる取り組みをめざす。
- ウ) 園内の中核的役割を担う保育教諭への外部連続研修参加を支援する。

(3) 組織人材

- ア) 働く環境（時間・休暇）を管理する。
超過勤務時間 10%削減と有給休暇消化率 15%UPをめざす。
- イ) 働き甲斐のある環境整備に努める。
業務改善の中で自ら掲げた行動目標や教育保育運営の参画により得られた満足感をフィードバックすることで個々の能力開発や意欲を向上させる。
- ウ) 健康福祉短大を資源とした連携と協働
 - ① 教員との懇談会・研修会開催 ②授業への協力 ③学生・園児との交流等を通して積極的に関わりを持つことによって学校へ貢献し、保育教諭の資質向上・人材確保に繋げる。